学校番号	410

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新現代社会 新訂版（実教出版）						
副教材等	ライブ！現代社会 2021（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

広い視野に立って，現代の社会について主体的に考察させ，理解を深めるとともに，人間としての在り方生き方についての自覚を育て，平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

２　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて，広い視野に立って，現代の社会と人間についての理解を深めさせ，現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自らの人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追求するとともに，社会的事象を総合的に考察しようとする態度と、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度とを身に付け，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄を見いだし，社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用して学ぶ方を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間の在り方生き方とに関わる基本的な事柄や,学び方を理解し,その知識を身に付けている。
評価方法	学習の状況 定期考査 レポート	学習の状況 定期考査 レポート	学習の状況 定期考査 レポート	学習の状況 定期考査 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代民主政治と日本国憲法	・人権の保障，国民主権，議会制民主主義，権力分立，法の支配など民主政治の基本原理などについて理解を深める。 ・民主政治における個人と国家について考察する。 ・政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深め，主権者としての意識を身に付ける。	○ ○	○	○	○ ○	a: 民主政治の本質や現代政治の特質を意欲的に追求しようとしている。 b: 国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について多面的･多角的に考察し，その過程や結果を様々な方法で表現している。 c: 現代政治の特質に関する情報を収集し，適切に活用できる。 d: 民主政治の基本的な概念や理論を理解し，その知識を身に付けている。	学習の状況 定期考査 レポート
	日本国憲法の基本的性格	・日本国憲法の成立過程及び日本国憲法に定める基本的人権の保障，平和主義について理解を深める。 ・生命の尊重，自由・権利と責任・義務，人間の尊厳と平等などについて考察する。 ・日本の安全を守る安全保障政策について理解するとともにこれからの防衛政策について考察する。	○ ○	○	○ ○	○	a: 主権者として憲法成立過程と基本的人権，平和主義の内容を意欲的に追求しようとしている。 b: 人権問題，安全保障を多面的・多角的に考察し，結果と根拠を様々な方法で表現している。 c: 人権や安全保障の時事的な事象を収集し，適切に活用できる。 d: 憲法が普遍性を持つこと気づき，人権が生まれながらの権利であることや他者の権利の尊重を理解し，その知識を身に付けている。	学習の状況 定期考査 レポート

	日本の政治機構と政治参加	・日本の行政，立法，司法制度について理解を深める。 ・民主政治における個人と国家について考察する。 ・法や規範の意義や役割について理解を深め，法意識を高める。 ・地方自治の意味を理解する。 ・政治参加の重要性と民主社会において，自ら生きる倫理について自覚を深めさせ，主権者としての意識を身に付ける。	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ 	 ○ 	a：平和主義，安全保障について理解し，その知識を身に付ける。 b：現代政治への関心を高め，主権者意識を身に付いている。 c：政治について考察し，政治の在り方を公正に判断し，その結果を適切に表現している。 d：日本の政治制度について理解し，その知識を身に付けている。	学習の状況 定期考査 レポート

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	青年期と自己の形成　自分らしく生きる人間としてよく生きる　日本人としての自覚	・自己理解を進め，自己形成の課題を考察し，勤労観・職業観を含め，どのように社会参加を果たしていくのか，など自らの人間としての在り方生き方について考察する。 ・伝統や文化が日常生活に与える影響に着目し，現代社会における青年の生き方について自覚を深める。	○	○	○	○	a: 自己形成の課題を意欲的に追究し，自己の生き方について考察しようとしている。 b: 自己形成や生き方について，幸福・正義・公正などを用い多面的多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c: 諸資料をメディアを通して収集し，効果的に活用している。 d: 生涯における青年期の意義，社会参加などについて理解し，その知識を身に付けている。	学習の状況 定期考査 レポート

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
3学期	わたしたちの生きる社会　地球環境問題　資源・エネルギー問題　生命科学と情報技術の課題	・現代社会における諸課題，特に生命，情報，環境を扱う中で，社会の在り方を考察する基盤としての幸福，正義，公正などの枠組みついて理解する。 ・生命，情報，環境などを中心に現代社会に対する関心を高め，いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。 ・生命，情報，環境などを中心とした現代の諸課題をどのように解決するのか，どうあるべきか，自分なりの考えを持つ。 ・生涯における青年期の意義を理解する。	○ ○	○ ○	○	○ ○	a: 現代社会の諸課題に対する関心を高め，それらを意欲的に追求し，自己の生き方と関連させながら考察しようとしている。 b: 現代社会の諸課題について，幸福，正義，公正などの観点から多面的多角的に考察し，いかに生きるかについて公正に判断して，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c: 諸資料をメディアを通して収集し，効果的に活用している。 d: 現代社会の諸課題の現状や課題，社会の在り方を考察する基盤としての幸福，正義，公正などについて理解し，その知識を身に付けている。	学習の状況 定期考査 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画　作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。